

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年5月1日）

### 1 主な報告等

#### (1) 沖縄市における日米合同地域安全パトロールの実施について

委員から、多数の機関が連携して、一つの目的に取り組んだことは意義深いことだ。大規模なパトロールが行われ、人々の目を引いたことと思う。ただ、目的に比較して体制が大きく、アンバランスに感じた。パフォーマンスとの批判もあると聞いているので、同一地区だけでなく他の地区へ分散させるなど、規模に応じた体制を編成してもよいと思う。ほかにも、飲酒絡み事案にはこのような展開をする、その他の犯罪抑止にはこのような工夫をしていくなど、目的と体制との整理が必要だ。地域住民、県民目線に立ち、いろんな方策を考えていただきたい。今後も活動を継続していくためには、持続可能な体制を維持することが課題になると思う。今回の結果をしっかりと検証していただきたい旨の発言があった。

#### (2) 社会全体のサイバーセキュリティ向上の実現に向けた取組について

委員から、サイバーパトロール・サポーターの方々が、ボランティアで協力していただけることは非常にありがたい。サイバー犯罪抑止には、警察だけでなく、民間の力を借りるといふ広がりが必要だと感じた。提供していただいた情報のてん末をフィードバックするなどして、ボランティアの方々を大切にしていきたい。サポーター以外にも、ネット利用中に違法情報を見つける人は多いと思う。そのような方々が警察へ簡単に連絡できる窓口などがあれば、もっと広く情報を集められると思うので、更なる裾野拡大の工夫をしてほしい。また、企業等への情報発信に関して言えば、商工会議所等の各種団体には、大企業から個人事業主まで幅広く所属している。サイバーセキュリティ担当者がいる企業もあればいない企業もある。同じテーブルで発信しても伝達するのは難しいと思われる。可能な限りすべての企業に担当者の配置を依頼するほか、規模に応じた研修を行うなど、発信方法を工夫していただきたい旨の発言があった。

#### (3) 職務質問技能の向上に向けた取組について

委員から、地域警察官による職務質問は、事件事故を未然に防ぐための能動的で貴重な活動なので、積極的に進めてほしい。SNS等には職務質問対策などの情報もあるが、警察も技能をアップデートして多くの職員がスキルを身につけてほしい。専門的能力を身につけるには、正解となる方法がないと言われている。引き出しを多く持って全体的な底上げを図って行くことが肝要だと思う。様々なノウハウを習得し、より高い能力を目指して頑張してほしい。また、女性警察官の職務質問場面を増やすことも必要だ。女性がチームリーダーとなっている刑事ドラマも多い。意識を変え、職務質問の在り方も見直していただきたい旨の発言があった。

#### (4) 捜査支援分析室の発足及び捜査支援状況について

委員から、捜査支援分析は、科学的、客観的事実に基づいた捜査が求められる今

の時代には必須だ。今後、支援要請がもっと求められるほか、新しい技術も開発されていくが、警察も技術に後れをとらないようどんどん更新してもらいたい。高性能資機材が拡充されれば、もっと色々な捜査が迅速にでき、捜査員の能力も向上するだろう。くれぐれも、防犯カメラなどの収集にあたっては、個人情報情報を厳格に保護するなど、しっかり対応してもらいたい旨発言があった。

#### (5) その他

警察本部から、今回、沖縄市において、県、国、米軍などの関係機関が参加した地域ぐるみのパトロールが行われた。この種の防犯活動では、委員ご指摘のとおり、目的を明確に意識することが重要である。例えば、那覇市では国際通り付近で騒音や落書きで困っている実態があり、市や自治会等による防犯パトロールなどが行われているが、このように地域住民が抱える課題は地域によって異なる。今後とも、各地で防犯活動を行う上では、それぞれ目的を明確にして、どのような活動や方法が効果的なのか、よく検討しながら丁寧に取り組みたい旨の発言があった。

## 2 主な決裁等

### (1) 警務部

- ・ 警務関係報告
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について
- ・ 遺族給付金支給裁定に伴う公安委員会の裁定について
- ・ 審査請求の受付について
- ・ 令和7年度における留置施設の実地監査計画の策定について

### (2) 地域部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について

### (3) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について

### (4) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求について